

P021R0074

2009年12月3日

言葉の持つ本来の意味とその根源を探る

川邊りえこ「KO. TO. TA. MA - 呼吸する文字 -」展を1月2日（土）から開催

ポーラ ミュージアムアネックス（中央区銀座1丁目）では、2010年1月2日（土）から1月17日（日）までの会期で「KO. TO. TA. MA - 呼吸する文字 -」展を開催いたします。本展では“書く”という行為を通して“言葉の魂”を表現する美術家・川邊りえこ氏の「KO. TO. TA. MA」のシリーズから“言葉”の持つ本来の意味、その力の根源を想起させる作品をご紹介します。

漢字が伝来する以前に古代日本で使用されていたと言われている神代文字。その文字は川邊りえこ氏の手によって、“呼吸する文字”として生命を与えられ、生まれ変わります。文字は会場内にしつらえた方丈（四畳半程度広さ）の白い空間に解き放たれ、呼吸し、意思を持つかのように躍動します。神代文字の伸びやかで自由な美しさが会場を満たします。



方丈の空間で生命を与えられた文字が踊る

展示会場イメージ

古代において文字は単なる記号ではなく、選ばれた人だけがこれを使うことを許された秘儀でした。“書く”という行為は大切なメッセージを発信する、特別なふるまいだったのです。

文字とは光であり、生きるためのエネルギーであり、魂を癒す祈りでした。

日本においてその力は KO. TO. TA. MA と呼び、古の人々はこの秘儀を、文字、数値、楽、舞、かたちなどの中に象徴として隠し、権力の干渉からこれを守るべく、美しく、そして巧妙に塗り込めてきました。

日本の伝統の源泉としての古代より二千年の時を経て今、私はこの KO. TO. TA. MA の力を宇宙に解き放ちます。

KO. TO. TA. MA の波動を感じて頂きたいのです。

川邊りえこ

【リリースに関するお問い合わせ】 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス グループ広報室

TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【お客さまからのお問い合わせ先】 TEL 03-3563-5501

| 展覧会概要 |

展覧会名	「KO. TO. TA. MA - 呼吸する文字 -」
作品点数	5 点
会期	2010 年 1 月 2 日 (土) - 1 月 17 日 (日) * 会期中無休
会場	ポーラ ミュージアム アネックス 〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3 階
アクセス	東京メトロ 銀座駅 A9 番出口から徒歩 6 分 東京メトロ 銀座一丁目駅 7 番出口すぐ JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩 5 分
主催	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
協力	キヤノン株式会社
キュレーション	太田菜穂子 (KLEE INC PARIS TOKYO)
開館時間	11:00 - 20:00 (入場は 19:30 まで)
入場料	無料

| 作家略歴 |

川邊りえこ Rieko KAWABE 美術家

日本古来の伝統、美意識への幅広い素養をベースに鍛錬を重ね、地球規模でのボーダレスなアート活動を展開。空間と時間を包括的に包み込む“書”を核にする創作スタイルは、森羅万象が時間を超えて響き合う『KO. TO. TA. MA』に収斂される。

Installation:

明治神宮 隔雲亭・東京 「遊びをせんとや生まれけむ」(1995) / 蕉雨園・東京 「宇宙」(1998) / 東京国際フォーラム 「空間の原点・寸法」(1999) / 東京都庭園美術館 「紙、土、木、竹、布 みやびごと (日本の素材と見立て)」(2000) / 長圓寺・東京 「華荘巖」(2001) / 銀閣寺・京都 「祈りと伝承」(2004) / 北京釣魚台国賓館・中国 「漢字文化圏の連帯」(2005) / 法然院・京都 「蓮花散華」(2006) / 東京国立博物館 茶室と法隆寺宝物館 「総体の美」(2006) / メゾンカラヴァス・パリ 「KO. TO. TA. MA Installation」(2008)

Creation:

竹丈庵 (1999)